

日本地質学会・会長
宮下純夫 先生

宇宙航空研究開発機構
技術参与・名誉教授
向井利典

先般、私共の理事長宛に日本地質学会長としての要望書をお送りいただき、ありがとうございました。「はやぶさ」試料のキュレーション・初期分析作業の全般的統括を担当している者として、御礼申し上げます。

「はやぶさ」は、本年6月の地球帰還以来、国民の皆様からの関心が大きく高まり、大変ありがたいと思うと共に責任の重大さを認識しているところです。それだけに昨年11月中旬に公表しました「イトカワ」起源の微粒子回収の成功につきましては、キュレーションチームの中で実際に分析を担当された大学の専門家の意見を踏まえ、慎重に検討を重ねてまいりました結果、公表することになりました。公表に際しては、分析を担当した専門家から分析結果とその概要を頂きました。その内容には地質学会からいただきました要望書にあるご指摘は全て網羅されていましたが、一般向けには大変難しい内容でした。プレスリリースは国民一般向けに発信されるので、限られたスペースにおいてできるだけ平易な言葉で成果を説明するように努めました。その結果、専門家の方々には不十分な説明になってしまいましたが、今後、社会一般向けのわかりやすい広報と専門的正確さの兼合いについてより一層注意していきたいと思えます。云うまでもありませんが、学術的な内容は国際会議や専門誌上で発表される予定ですので、専門的議論につきましてはそちらでよろしく願いいたします。

ご参考までに、「惑星地質ニュース」の最新号（vol. 23, no. 1）に中村智樹・野口高明両氏による補足的解説が掲載されており、また、一般向け科学雑誌 Newton 2月号にも関連記事が出ています。このような機会を通じて、今後、地学や宇宙科学、自然科学全般に対する一般社会の関心が増えていくことを期待しているところです。よろしく願いいたします。